学校番号	325

令和５年度　公民科

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高等学校　改訂版　政治・経済」（第一学習社）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

＊新聞に代表されるメディアが発信する情報を積極的に提供し、その背景にある課題と解決方法を考えさせる。
＊基本的な知識の定着を図り、公務員・就職試験、センター試験に対応した演習問題にも取り組む。

2　学習の到達目標

一年次に学習した現代社会の知識を基礎に、経済分野や国際関係分野の学習を深め、日本の政治や経済、国際関係に関する諸課題を考察することで、市民、地球市民としての必要な能力や態度を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代の社会と人間にかかわる事柄に対する関心を高め，意欲的に課題を追究するとともに，平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加，協力する態度を身に付け，人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとしている。	現代の社会と人間にかかわる事柄から課題を見いだし，社会的事象の本質や人間の存在及び価値などについて広い視野に立って多面的・多角的に考察し，社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して，その過程や結果を適切に表現している。	現代の社会と人間にかかわる事柄に関する諸資料を収集し，有用な情報を適切に選択して，効果的に活用している。	現代の社会的事象と人間としての在り方生き方とにかかわる基本的な事柄を理解し，その知識を身に付けている。
評価方法	授業態度 観察(取組状況)	授業態度 発問評価 観察(取組状況)	発問評価 提出課題	小テスト 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	民主政治の基本原理	・政治と法の機能 ・人権保障と法の支配 ・議会制民主主義と世界の政治制度	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○	○ ○ ○ ○	a:民主政治の本質を把握しながら、政治と私たちとのかかわりについて理解する。 b:法に関する基本的な見方や考え方を理解している。 c:民主主義の発展について理解するとともに、各国の政治体制について諸資料を利用して調査する。 d:民主政治について基本的な知識を身につけている	・授業態度 ・発問評価 ・小テスト ・提出課題 ・定期考査
	日本国憲法と平和主義	・日本国憲法の基本原理 ・平和主義と自衛隊	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○	○ ○ ○ ○	a:　日本国憲法をめぐる論点について関心を持ち、改正問題がどのように主張されているかを調べる。 b:　大日本帝国憲法と日本国憲法の本質について理解する。 c:　大日本帝国憲法と日本国憲法を比較できる資料を用いて、両憲法の違いを整理することができる。 d:日本国憲法の成立過程を把握しながら、三大原理について理解する。	・授業態度 ・発問評価 ・小テスト ・提出課題 ・定期考査
	基本的人権の保障	・基本的人権の保障 ・新しい人権	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○	○ ○ ○ ○	a:　個人の尊厳、自由、平等などの社会的価値について把握する。 b:個人の尊厳、自由、平等などの社会的価値における、権利相互の関係や人権をめぐる諸課題について理解する。 c:　人権に関する判例を活用しながら、権利と義務との関係や「公共の福祉」の概念について理解する。 d:自由権や社会権だけでなく新しい人権を理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・小テスト ・提出課題 ・定期考査

	国民主権と政治機構	・国会の組織と立法 ・内閣の機構と行政 ・裁判所の機能と司法制度	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○	○ ○ ○ ○	a:国会、内閣、裁判所などの政治機構にふれながら、主権者としての政治に対する関心を高め、役割を理解する。 b:日本国憲法下での立法・行政・司法のあり方について問題点も含めて、幅広い視点から考察する。 c: 裁判員制度について理解し、報道資料などから国民の司法参加の意義を考察するとともに、刑罰の意義や犯罪被害者の救済、犯罪者の構成について関心を高める。 d: 国会、内閣、裁判所の制度に関する基本的な知識を身につける。	・授業態度 ・発問評価 ・小テスト ・提出課題 ・定期考査
2	現代日本の政治	・地方自治制度と住民の権利 ・政党政治と選挙制度 ・民主政治における世論の役割	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○	○ ○ ○ ○	a: 政治参加に関心を持ち、そのさまざまな形態について意欲的に興味を持って学習を進めている。 b: 日本の選挙制度について把握しながら、政党や圧力団体の行動とその意義を理解する。 c: 日本の主要政党の政策パンフレットを集めて、各政党の主張を整理する。 d:日本の選挙制度や政党、圧力団体の行動や政治的無関心の広がりに関する基本的な知識を身につける。	・授業態度 ・発問評価 ・小テスト ・提出課題 ・定期考査
	経済社会の変容 市場メカニズム 金融と財政	・経済社会の発展 ・経済主体と経済活動 ・市場経済の機能と限界 ・経済成長と景気変動 ・物価の動き ・金融の仕組みと働き ・財政の仕組みと働き	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○	○ ○ ○ ○	a: 株式会社とはどのようなものか, 所有と経営の両面から理解し, 企業の社会的責任について関心を高める。 b: 資本主義経済の特徴を, 社会主義経済の特徴と比較しながら, 現代経済の特質について理解する。 c: 需要・供給曲線などを利用して価格メカニズムについてまとめようとしている。 d: 現代の経済についての基本的な知識を身についている。	・授業態度 ・発問評価 ・小テスト ・提出課題 ・定期考査

	国民所得と景気変動 日本経済の発展	・日本経済の歩み ・中小企業の地位と役割 ・農業の現状と課題 ・消費者問題 ・高度情報社会の進展と課題 ・労働問題 ・社会保障制度の充実 ・環境保全と資源エネルギー問題	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○	○ ○ ○ ○	a: 第二次世界大戦から今日までの日本の経済成長に関心を持ち、その要因の究明に意欲的である b: 戦後の経済成長を振り返って、安定した経済成長を実現するための諸政策について考えている。 c: 人々の生活が豊かになる一方で、公害などの社会問題が発生したことを認識する。 d:戦後の経済情勢に関する基本的な知識や景気変動に関する基本的な知識を身につけている。	・授業態度 ・発問評価 ・小テスト ・提出課題 ・定期考査
	世界経済の諸課題	・国際経済のしくみ ・国際協調と国際経済期間の役割 ・地域的経済統合 ・グローバル化する経済 ・南北問題と日本の役割	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○	○ ○ ○ ○	a: 地域的経済統合やＦＴＡ・ＥＰＡについて関心を持つ b: 為替相場のメカニズムについて把握しながら，円高・円安が国内の産業にどのように影響するか理解する。 c: 保護貿易・自由貿易それぞれの長所・短所を理解する。 d: 国際経済に関する基本的な概念や理論を理解する	・授業態度 ・発問評価 ・小テスト ・提出課題 ・定期考査
3	国際社会のしくみ	・国際社会と国際法 ・国際連合の組織と役割 ・国際政治の動向	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○	○ ○ ○ ○	a: 国際政治と国内政治の違いや，国際法や国際裁判の意義を理解する。 b: 国際社会の成立過程を把握しながら，実際には国家間でさまざまな格差があることを理解する。 c: 国際連合の組織図を元に、それぞれの期間の役割を考察する。 d: 国際連盟と国際連合の違いを把握しながら，国際連合の役割，国際連合が抱えている課題について理解する	・授業態度 ・発問評価 ・小テスト ・提出課題 ・定期考査

	国際政治の動向 核軍縮と国際政治の課題	・国際紛争と難民問題 ・軍備管理と軍縮 ・日本の外交と国際平和への役割	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○ 	○ ○ ○ ○	a: 冷戦終結後の国際社会の動向について把握するとともに，冷戦終結後の世界が冷戦時代と比べてどのように変化したのか理解する。 b: 民族紛争を例に，複雑な国際関係を幅広い視点から考察するとともに，国際社会における文化や宗教の多様性について理解する。 c: 軍縮や国際平和に関する問題について，メディアを利用して調査し，国際平和のために日本が貢献できることについて，多角的な視点で考察する。 d: 冷戦後の国際情勢についての知識を持ち、地域紛争などの現状について理解する。	・授業態度 ・発問評価 ・小テスト ・提出課題 ・定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。